



in 尾鷲

いのち 「生命のメッセージ展」とは

犯罪や事故、いじめなどによって、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

犠牲者一人ひとりの等身大の人型パネルはメッセンジャーと呼ばれ、その胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、足元には「生きた証」である靴を置いて、いのちの大切さを訴えています。

生きたくても生きられなかったメッセンジャーからの「いのちを守り、そして未来につなげる願い」を感じてください。



メッセンジャー

本人の写真

家族の言葉

生前履いていた靴

本人と同じ身長



この靴を履いて、
あの日元気に
出かけていった…

生命のメッセージ展 in 尾鷲に寄せて 尾鷲市長 加藤 千速



すべての人々の生命はかけがえのないものであり、誰からも決して奪われるものではありません。しかし、現実では凶悪な犯罪や交通事故などで生命を奪われる人が後を絶ちません。

尾鷲市では犯罪に遭われた方々への支援に取り組んでおり、被害者や遺族に対する支援金制度を創設いたしました。

「生命のメッセージ展」にご来場された方には、理不尽に生命を奪われた方々が生きた証を感じるとともに、生命の重さ・尊さについて、改めて考えていただきたいと思います。そして、犯罪や不条理のない社会が実現されることを心より願っております。

日時 2026年（令和8年）1月20日（火）～ 25日（日）
9：00～16：30
場所 尾鷲市中央公民館 1階 ロビー
(尾鷲市中村町10-41) *JR尾鷲駅出口から徒歩約6分

主催 「生命のメッセージ展 in 三重」実行委員会 特定非営利活動法人いのちミュージアム
後援 尾鷲市、尾鷲市教育委員会、三重県、三重県教育委員会、三重県警察、尾鷲警察署、
公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター、三重県交通遺児を励ます会